

会 議 録	
会 議 名	令和6年度 第1回 丸亀市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年5月29日(金) 午後2:00～4:00
開催場所	マルタス 2階 ROOM3,4
出席者	<p>(出席委員)</p> <p>辰巳 裕子、中野 実千代、松本 智支、矢野 秀典、山川 政明、近藤 友吏子 高木 明美、高橋 勝子、長谷川 晃、吉村 真樹、大田 美絵、金澤 泰宏 白川 常俊、前谷 智仁、真鍋 奈美、合田 博幸、三好 里美</p> <p>(欠席委員)</p> <p>吉川 暢子、奥澤 日登美、佐々木 航平、岡崎 幸</p> <p>(事務局)</p> <p>健康福祉部長 谷本 智子</p> <p><b>子育て支援課</b> 課長 窪田 美由紀、副課長 駒松 暁子 家庭児童相談室室長 十河 里臣、企画担当長 高口 真弓 支援担当長 岸上 桂</p> <p><b>健康課</b> 課長 堀瀬 晴彦、副課長 江渕 貴彦、母子保健担当長 鳥井 順子</p> <p>教育部長 窪田 徹也</p> <p><b>幼保運営課</b> 課長 山下 友通、副課長 横山 史朗、総務担当長 萬城 信哉 運営担当長 三宅 征志</p> <p><b>教育部総務課</b> 課長 土井 節子、副課長 後藤 幸功、庶務担当長 小野 佳代子</p> <p><b>学校教育課</b> 副課長 西山 晋作</p>
議 題	<p>(1) 丸亀市こども未来計画に基づく需給バランス分析について</p> <p>(2) 令和6年度の幼稚園・保育所(園)等の状況について</p> <p>(3) 令和5年度地域子ども・子育て支援事業及び子ども・子育て支援施策(次世代育成支援行動計画)の状況について</p> <p>(4) 就学前教育・保育施設(公立)の現状</p> <p>(5) アンケート調査の結果について</p> <p>(6) 次期こども未来計画の策定について</p> <p>(7) その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
事務局	<p>定刻が参りましたので、ただ今から、令和6年度第1回丸亀市子ども・子育て会議を開会いたします。委員の皆様には大変お忙しいところ、ご出席をいただきましてありがとうございます。今年度は、令和7年度からの第3期丸亀市こども未来計画策定の年となりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、異動及び役員交代に伴い新たに委員となりました方に委嘱状を交付いたします。時間の都合上、既にお手元にお配りしておりますので、お名前をお呼びいたします。</p>

事務局	<p>丸亀市立保育所等所長会 近藤委員、丸亀市保育所保護者会連合会 長谷川委員、丸亀市立幼稚園・こども園長会 大田委員、丸亀市公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 佐々木委員、丸亀市立中学校長会 白川委員となります。なお、任期につきましては、残任期間となりますので、令和6年4月1日から令和7年7月11日までとなります。後ほど自己紹介をお願いいたします。</p> <p>それでは、初めに辰巳会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
辰巳会長	<p>皆様こんにちは。本日はお忙しいなかお集まりいただきまして、ありがとうございます。計画については、子育て支援課の方が中心となって、非常にお忙しいなか資料を作ってくださいています。私たちも、子ども・子育て支援等について良い結果となるよう、色々と案を練りながら進めていきたいと思っておりますので、本日の会議もご協力をお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、健康福祉部長 谷本よりご挨拶を申し上げます。</p>
谷本部長	<p>本日はお忙しいなか、ありがとうございます。</p> <p>今年4月1日から健康福祉部長を務めております谷本と申します。委員の皆様には、日頃から子育て支援をはじめ、本市行政の多方面に渡りましてご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。どうもありがとうございます。</p> <p>本日、お集まりいただきました子ども・子育て会議では、丸亀市子ども未来計画の推進を中心に、丸亀市のすべての子ども達が健やかに育つよう、また安心して子育てができるよう様々なご意見を頂戴してきたところです。今年度につきましては、現在進めている施策の内容の充実に加えまして、来年度からを計画期間とする新たな丸亀市子ども未来計画の策定についてのご審議が中心になろうかと思っております。新たな計画では、昨年4月から施行されている「こども基本法」で、より明確化されました「こどもの意見を反映させる」といった視点も、これまで以上に重要になってくるものと考えております。</p> <p>委員の皆様には、そのような観点も含めまして皆様のご経験や専門的な知識から忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>続きまして、新しく委員になられた5名の皆様から一言ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは近藤委員より順番をお願いいたします。</p>
近藤委員	<p>《近藤委員 自己紹介》</p>
事務局	<p>ありがとうございます。では、長谷川委員をお願いします。</p>

長谷川委員	<p>《長谷川委員 自己紹介》</p>
事務局	<p>ありがとうございました。次は、大田委員お願いします。</p>
大田委員	<p>《大田委員 自己紹介》</p>
事務局	<p>ありがとうございます。白川委員お願いします。</p>
白川委員	<p>《白川委員 自己紹介》</p>
事務局	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>また、今回も第3期丸亀市こども未来計画の策定業務をご支援いただく株式会社ぎょうせいの方にも会議に同席いただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>次に、本日の会議の欠席者についてご報告いたします。吉川委員、奥澤委員、岡崎委員につきましては、事前にご欠席とのご連絡をいただいております。</p> <p>続きまして、会議の成立についてご報告いたします。丸亀市附属機関設置条例において「丸亀市子ども・子育て会議」では「委員の半数以上の出席」が会議の成立要件として規定されております。</p> <p>本日は委員総数21名のうち、17名の出席をいただいております。出席人数が半数を超えておりますので、本会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。また、併せて本日の傍聴希望者はございません。</p> <p>《資料の確認》</p> <p>それではこれより議事に移りたいと思います。丸亀市附属機関設置条例第7条に、「附属機関の会議は、会長が招集して議長となる」と規定されておりますので、ここからの議事進行につきましては辰巳会長をお願いいたします。</p>
辰巳会長	<p>それでは、私の方で議事を進めていきたいと思います。</p> <p>本日の議事でございますが、お手元の次第のとおり、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 丸亀市こども未来計画に基づく需給バランス分析について</li> <li>(2) 令和6年度の幼稚園・保育所（園）等の状況について</li> <li>(3) 令和5年度地域子ども・子育て支援事業及び子ども・子育て支援施策（次世代育成支援行動計画）の状況について</li> <li>(4) 就学前教育・保育施設（公立）の現状</li> <li>(5) アンケート調査の結果について</li> <li>(6) 次期こども未来計画の策定について</li> <li>(7) その他</li> </ol> <p>となっております。それでは、議事（1）丸亀市こども未来計画に基づく需給 balan</p>

辰巳会長	ス分析について、(2) 令和6年度の幼稚園・保育所(園)等の状況について、事務局よりご説明の方をよろしくお願いいたします。
事務局	<p style="text-align: center;">《事務局より説明》</p> <p style="text-align: center;">資料①、②-1、2</p>
辰巳会長	<p>ただ今の事務局の説明に関しまして、ご意見やご質問等がございましたらお願いいたします。</p> <p>それでは、ご意見等が無いようですので議事(3) 令和5年度地域子ども・子育て支援事業及び子ども・子育て支援施策(次世代育成支援行動計画)の状況について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">《事務局より説明》</p> <p style="text-align: center;">資料③-1、2</p>
辰巳会長	<p>それでは、ただ今の事務局の説明に関しまして、ご意見ご質問等がございましたら質問等をよろしくお願いいたします。皆さん何かございませんでしょうか。</p>
高橋委員	<p>先ほど、質問ができなかったのですが資料②-2 保育所(園)・こども園・小規模保育施設における入所待機児童数の令和6年4月1日のところで、私的待機児童数が41名となっていますが、資料②-1裏面の保育所(園)等一覧ですが、認可(利用)定員より入所児童数が多い園が7か所あって、それ以外は認可(利用)定員より少ない状況なのですが私的待機児童が41人もいるのですか。私的待機児童が利用希望している施設が認可(利用)定員を超えている状況なのでしょうか。</p> <p>また、資料③-2の7ページの上から3つ目の「3. 子育て支援情報ホームページの開設・運営」に関しまして、こちらの方のホームページのアクセス件数は「みてねっと(まるがめ子育て情報サイト)」の件数なのでしょうか。それとも、市ホームページの子育て情報に関するアクセス件数なのでしょうか。実績としては、令和3年は約23万件、令和4年度は約13万件で令和5年度は約4万件と急激に減少しているようですが、「みてねっと(まるがめ子育て情報サイト)」でしたら、月に約4~5万件のアクセス件数がありますので、数が一致せずおかしいと思っの質問です。</p> <p>以上2点です。回答をお願いします。</p>
辰巳会長	<p>それでは、事務局の回答をお願いいたします。</p>
事務局	<p>1点目のご質問の資料②-2、私的待機児童数の41名の件ですけれども、施設に空きはあるのに特定の施設のみを入所希望しているため、待機となっている方がございます。以上です。</p>

高橋委員	<p>児童が認可（利用）定員を超えている1園にしか、利用を希望していない方なんです。</p>
事務局	<p>利用希望を1園のみとされている方もいらっしゃいますし、複数の園を希望していても空きのない園を希望されている方もいます。</p> <p>では、2点目の資料③-2の7ページ「ホームページのアクセス件数」の質問にお答えします。これは市のホームページで、「みてねっと」とは別のものになっております。また、アクセス件数の減少についてですが、令和5年度から市のホームページが更新されカウントの仕方が大幅に変わっております。子育て支援課だけでなく全庁的にアクセス件数が減少している状態です。しかし、掲示している情報は前よりも増え情報提供は継続して行っていますので評価は前回と同じ「A」とさせて頂きました。</p>
辰巳会長	<p>他に質問等はございませんか。</p>
高木委員	<p>まず、1点目は少し待機児童にも関係するかもしれませんが、保育所（園）等できょうだいが別々の園に仕方なく通園しているケースを聞いたことがあるのですが、そのようなケースが本当にあるのか。また、実際にあるとして1年目は仕方がなくても2年目以降でのケースへの対応はどのようになっているのかお聞きしたいです。</p> <p>それと、2点目は要望です。こども家庭庁になり、こども家庭センターの設置等も含め今後もいろいろな事業が展開されますが、更に充実するような素晴らしい政策をお願いします。以上です。</p>
辰巳会長	<p>では、事務局の回答をお願いします。</p>
事務局	<p>実際に、保育所（園）等できょうだいが別々の園に通園されている方はいらっしゃいます。また、転所（園）の申込をして同じ園を希望される方もいらっしゃいます。以上です。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのような場合、1年間は転所（園）なく同じところとなる対応を取るのですか。それとも、年の途中でも転所（園）できるような対応はあるのですか。</p>
事務局	<p>選考に関しては毎月やっておりますので、転所（園）のタイミングは、年1回だけではなく年の途中もあります。</p>
辰巳会長	<p>他に何かありますか。</p>
山川委員	<p>資料③-2の1ページの事業内容「地域に遊び場が少ない子どものために私有地が開放された場合には、安全に遊べる空間となるよう支援する。」ですが、各年度5ヶ所</p>

山川委員	<p>つつ公園があるようですが、そういった場所ができた場合には地域への周知方法等はどのような形を取られているかお伺いいたします。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。今日は、担当の都市計画課が同席しておりませんので、質問内容について確認をしまして後日、共有させていただいてよろしいでしょうか。</p>
辰巳会長	<p>今の質問への回答は、後日とのことでお願いします。他に質問等はありませんか。保育所（園）の待機児童については、毎回なくならない課題となっています。今回のような保育所（園）等できょうだい別々の園に通園している方の同じ園への転所（園）希望のケースは、保護者の要望も十分に理解できるところです。なるべく早く、解決への対応をいただいていると思うのですが、今後ともよろしくお伺いいたします。それでは次に、議事（４）就学前教育・保育施設（公立）の現状について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>《事務局より説明》 資料④</p>
辰巳会長	<p>ただ今の事務局の説明に関しまして、ご意見やご質問等がありましたら、よろしくお伺いいたします。大丈夫でしょうか。それでは、次に議事（５）アンケート調査の結果について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局・業者	<p>《事務局・業者より説明》 別冊資料・追加別冊資料</p>
辰巳会長	<p>それでは、ただ今の説明に対してご意見やご質問等がございましたら、よろしくお伺いいたします。</p>
高木委員	<p>今回は、別冊資料後半の中学生・高校生等とその保護者のアンケート調査結果を中心に説明いただいたのですが、別冊資料前半の就学前・小学生保護者へのアンケート調査結果も含んでの質問と意見なのですが、中学生・高校生等保護者への設問「(問20)子どもに関する相談先について」では、相談先の認知と利用についての問ですが、「まる育サポート～あだあじお～（市・子育て支援総合相談窓口）」と記載があり、「利用したことがある」と回答した人が65%と高い割合であることが分かります。</p> <p>しかし、就学前保護者（問12）・小学生保護者（問27）への設問の「地域子ども・子育て支援事業について」で各支援事業の認知と利用についての設問ですが、「まる育サポート」との記載はあるが「あだあじお」の名称記載はない。「利用したことがある」と回答した人は3.9%で低い割合となっている。実際の相談での利用者は、就学前・小学生保護者が多いのに調査結果が伴っていない。</p>

高木委員	<p>また、就学前保護者（問38）、小学生保護者（問10）と中学生・高校生等保護者（問19）への共通の設問として「子育てに関する相談先」で調査を行っているが、相談先として「NPO法人や民間団体の相談窓口」との記載はあるが「あだあじお」での名称記載はない。設問での名称記載の違いに理由はあるのですか。</p>
事務局	<p>質問にお答えいたします。それぞれに行ったアンケート調査の設問数の関係で、「子どもに関する相談先について」の問として、相談先「まる育サポート～あだあじお～（市・子育て支援総合相談窓口）」等の名称を記載して認知と利用についての設問は、中学生・高校生等保護者へのアンケートでしか採用しておりません。また、アンケート全体のボリュームや設問内容により、全ての問に「まる育サポート～あだあじお～（市・子育て支援総合相談窓口）」の名称の入った設問は用意しておりません。</p>
高木委員	<p>ありがとうございます。利用状況とかの判断については、相談業務で実際に取っているデータで判断をし、今後の活動に生かしていきたいと思えます。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。他に意見等をお願いします。</p>
近藤委員	<p>アンケート結果などを見させていただきました。本当に子育てに悩んでいらっしゃる保護者の方々に紹介できる相談機関が丸亀市にはたくさんあり、その一つである「あだあじお（NPO法人グランマール）」が、私たちにとって身近な存在で必要性があることを保育現場の状況を踏まえ話しをさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>保育の現状であります。保育現場では0歳児から5歳児までの様々な年齢のお子様をお預かりしております。今は、「自由保育」という言葉も聞いたことがあると思いますが、児童が自分の好きなことを選んで主体的に楽しく過ごす保育に取り組んでいます。しかしながら、長時間を共同で生活するなかで、楽しい、嬉しいことだけではなく、自分の気持ちが伝わらないもどかしさが怒りになったり、児童も生活の中で感情の体験も積み重ねているところです。</p> <p>お子さんによって感情表現の仕方は様々です。そんな中には、発達によるものもありますし、愛着関係の面での不安定さからの行動とか、家庭からの特性によるものなどの違いがある中で、一人一人のお子さんの気持ちに寄り添いたいとの思いから、そのお子さんに応じて関わろうと、現場では一喜一憂しながら試行錯誤している状況にあります。「関わり方はこれで良かったかな」とか「言葉だけの対応で良かったのかな」などと、いろいろと課題が出てきます。そんな中で、もう10年以上前からでしょうか、専門性を持ったグランマールの先生に発達障害児支援協働事業による巡回カウンセリングをしていただき、たくさんのお子さんの様子を見ていただきました。そのお子さんの発達段階、特性、そして家庭背景を踏まえての子どもの理解に繋がるアドバイスをいただいております。私たちが本当に今ほしいアドバイスをいただけるので、相談員の先生方には安心感と信頼を寄せているところです。</p> <p>また、日々の子育てに悩んでいる多くの保護者から「先生しんどいわ」との声を聞</p>

<p>近藤委員</p>	<p>きます。そのような時には、私たちも信頼し助言をいただく先生方が在籍する「あだあじお」への相談を安心して紹介できます。実際に相談された保護者からも、「毎日怒ってばかりいたけど、相談したら子どもの行動には何か意味があると教えてもらったから、すぐ怒るのをやめようと思った」とか、「子育てについての相談に行ったのに、自分のイライラ感を聞いてもらったり学生時代のことを話したりして安心できたので、また行きたい」との声を実際に聞いております。</p> <p>やはり、丸亀市の「まる育サポート」で、妊娠から18歳までの子育て家庭への切れ目のないサポートは本当にありがたい事業だと思っております。この場をお借りして、「まる育サポート」に関わってくださっている子育て支援課や健康課の方や、発達障害児支援協働事業で何年にも渡り出張での巡回カウンセリングを行っていただいている方に、今後も続けていただきたいという気持ちで発言させていただきました。</p>
<p>辰巳会長</p>	<p>ありがとうございました。貴重な現場の声というのは、なかなか私たちでは分からないところがありますので、そういった声を皆さんの前で話していただけるのは非常にありがたいことです。</p> <p>保育所等での預かりは、1日のなかでも長い時間を占めています。その中での、子育て家庭へのサポートで、現場の先生だけでは頑張れない大変なところは、丸亀市のいろいろな取り組みに繋がっているとのことで、すごく安心できる部分ではないのかなと思います。</p> <p>他には、何かございませんでしょうか。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>アンケート結果を見ると、この数値のグラフのところは目が行きがちですが、その下の【その他】の意見にも目を留めたいと思っています。例えば、就学前児童のいる世帯への調査の問9「教育・保育施設を利用していない主な理由」で「子供の発達に悩みがあるため預けにくい」とあるのですが、一時預かりとか少しの時間子どもを預けたい場合やシングル家庭の方が自分に何かあった時に、障がいのある子どもをどこに預けられるのか不安になったなどの声もお聞きしています。そういった、数は少ないが本当に困っている問題でも、何もサービスがないとか支援ができないというところにも目を向け、次期計画に反映していただきたいと思います。</p> <p>また、アンケート結果なので何とも言えないのですが、就学前児童のいる世帯への調査の問12「地域子ども・子育て支援事業について」で子育て支援事業の利用について質問で、「赤ちゃん訪問」のところですが、「利用したことがある」が59.6%と「聞いたことはあるが、利用したことはない」が20.2%で、合計でも79.8%となっています。しかし、資料③-1の1ページ「赤ちゃん訪問」の実績では90%以上となっております。たまたま、訪問を行っていない人の家庭にアンケート調査票が届いたのかとも思ったのですが、実績とアンケート結果の数値がずれているのかとも思いました。</p> <p>あと、中学生・高校生等保護者への調査の問20「子どもに関する相談先について」で「まる育サポート～あだあじお～」を「知っている」「これまでに利用したことがある」のそれぞれの問で、調査対象は同じ人での回答で「知っている」が45.5%と「こ</p>

高橋委員	<p>れまでに利用したことがある」が65%を比較して、「これまでに利用したことがある」の方が多い数値となっている。普通は「知っている」の方が多い結果となるのではないかと不思議に思いました。</p> <p>また、今の課題だと感じている不登校とかダブルケアについての設問が浅かったかなあと感じています。それと、中学生・高校生等への調査の間35「過去の経験」で「学校に行きたくないと思ったか」の問いに「よくあった」「あった」との回答の合計が58.3%となっている。不登校問題もあり、学校に行きたくないと思った理由を聞いていたら良かったと思いました。今日は資料を持って来るのを忘れてましたが、こども家庭庁だったかアンケート調査をしたのですが、学校側から教師へのアンケート結果を見ると、子どもの方に問題があり病気である、やる気がないと回答が多くありました。でも、子どもへのアンケート結果を見ると、先生に信頼感がもてない、不信感があるとの回答が多かったと新聞に載っていました。以上です。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。今のアンケート結果と実績の数値の違いで、株式会社ぎょうせいの方から何か補足説明とかありますか。</p>
業者	<p>アンケートは調査対象から一部の人を抽出して回答していただいているデータの参考値でしかないので、アンケート結果と実績の数値をすり合わせて検証して行くことは必要だと思っています。</p> <p>先ほどの少数の意見については我々も非常に気を付けていて、今回の計画策定にあたってのメインテーマに「表に出てこない困窮世帯で困っているお子さんに対してどれだけ手を差し伸べられるか」とのところでもありますので、自由意見にも出ていたようにあまり表面に現れない「いじめ」だとか「相談ができない」や「ご飯を食べていない」等の意見はしっかりと見ていきたいと思っています。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。事務局の方で補足説明はありますか。</p>
事務局	<p>このアンケート結果で、先ほどの例えば「赤ちゃん訪問」だったら、「利用したことがある」と「聞いたことはあるが、利用したことはない」の合計は79.8%であるが、実績は90%以上というところで、こちらの方で捉えているそれぞれの数値は間違いないと思うのですが、実際にこのアンケートに回答した人の中で「赤ちゃん訪問」という認識がなかったことにより、その辺での多少差異はあるのかと思います。そこを含めてこのアンケート結果でこういう数字が出たことが、今回の気づきにつながったと思うので、この結果は1つ1つ丁寧に読み取りながら、何らかに対応できるような、本当の意味あるアンケート結果ということで、使っていきたいと考えております。いろいろとご意見等ありがとうございます。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。他には皆さんご意見はないでしょうか。</p> <p>アンケート結果と自由意見結果報告書を見ると、子育て世帯や子ども達の様々な声</p>

辰巳会長	<p>があり、それを1つ1つ検証・分析し今後の課題として反映された計画素案ができてくると思いますので、その際には皆さんのご意見等をいただけたらと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次の議事（6）次期こども未来計画の策定について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>《事務局より説明》</p> <p>資料⑤-1</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。ただ今の事務局の説明に関しまして、ご意見やご質問がございましたら、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>《事務局より説明》</p> <p>資料⑤-2</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。ただ今の説明に関しましてご意見ご質問などはございませんでしょうか。</p> <p>このアンケートも同じようにヒアリングも含め、株式会社ぎょうせいが行うことで間違いないでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。支援者アンケートとヒアリング調査につきましては、株式会社ぎょうせいが行います。そして、若者アンケート調査につきましては丸亀市が主体で行い、集計結果の終了後に株式会社ぎょうせいにまとめていただく形になるかと思えます。</p>
辰巳会長	<p>今のところ、その支援者アンケートでのこども・子育て家庭の支援機関への調査は、何件を予定していますか。</p>
事務局	<p>支援者アンケートの調査件数は約30件を予定しています。</p>
辰巳会長	<p>調査の全数がそれくらいですね。</p> <p>ヒアリング調査の方は、株式会社ぎょうせいで何か所を行う予定になっていますか。</p>
業者	<p>施設などを、1日で5か所を回る形を想定しています。</p> <p>事前に支援者アンケート調査を約30件で行いますが、アンケート調査で状況が十分に分かる場合があります。後は、計画策定における課題等の把握でお話を聞きたいと思うところを事務局と打ち合わせをし、一番効果的のところ到我々がお伺いして対面で聞き取りをするというイメージです。</p>

辰巳会長	<p>ヒアリングの対象者が、こども・子育て家庭の支援機関と支援機関を利用しているこども等となっていますが、どのような状況で行うのですか。</p>
業者	<p>ヒアリング調査は、まずは事業者に対してヒアリングを行い、その後その事業所に来ているお子様等に聞き取りをする予定です。対象者への対面ヒアリングについては、対象者に負担をかけないようにとの国からの指摘もありますので、お子様に行う場合はいつもいるスタッフの方が一緒にいて、我々もそこに加わり聞きやすい雰囲気を作りながらヒアリング調査を行う予定です。1度に行う人数については、あまり多いと聞きづらくなりますので約5名を集めていただき、聞き取りをすることを想定しています。</p>
辰巳会長	<p>支援事業所に出向いたタイミングで、来ている子どもたちを小グループで1か所に集めて皆に対して聞くというイメージでよろしいでしょうか。</p>
業者	<p>はい。そのとおりです。</p>
辰巳会長	<p>他には質問等はございませんでしょうか。</p>
高橋委員	<p>支援者等アンケートとヒアリング調査が、6月と7月で行われるようですが、この結果はどれくらいに出る予定でしょうか。骨子案が8月に出されるので、早めになるかと思うのですが。</p>
業者	<p>骨子案というのは目次案となります。8月に出されるのは骨子案で全体の構成と計画素案の前半でございますので、現計画と同じようなイメージで説明しますと、計画の目的、基礎的なデータ、アンケートの結果とできれば理念等が固まるような形になります。ただこれは、計画書と同じスタイルで作りますので8月会議の時には計画書案の前半部分ができ上がっていて、後半部分は項目が入っている状態です。この後、後半の項目を埋めていくと全体の計画が見えてきます。次の8月の会議では、計画案の前半の部分がしっかりできた状態でお示しできると思いますので、計画書のイメージがわくと思います。</p> <p>支援者等アンケートとヒアリング調査の結果につきましては、実施してから1ヶ月ぐらいで大体の概要が見えてきますので、8月の会議では皆様にはお伝えできないかもしれませんが、事務局の内部では中身が検討の段階に入っていると思います。</p>
高橋委員	<p>ありがとうございました。</p>
辰巳会長	<p>他にはご意見等はございませんでしょうか。</p>

吉村委員	<p>すみません。1点だけですが、不勉強で申し訳ないのですが資料⑤-1の「計画策定について」の5ページ、⑥子ども基本法附則第2条に基づく検討とありますが、どんな内容の条文ですか。</p>
事務局	<p>すみません。調べておこうと思って忘れておりました。調べさせていただき、次の会で回答させていただきます。申し訳ございません。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。他には大丈夫でしょうか。 では、次の議事（7）その他で事務局より何かありましたら、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>長時間ありがとうございました。 こちらからは、1つお伝えさせていただきます。先ほど、「計画策定について」で計画の日程についての話も出ましたが、子ども・子育て会議の開催についてとなります。皆さんには、会議の出席に対しまして日時を調整していただいての参加とのことで、大変感謝しております。次回は、8月30日の14時からの開催とさせていただきます。会場等の準備の関係で、候補日が複数あげられなかったこと申し訳なく思いますが、この日で実施したいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。以上です。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。 それでは、会の終了予定時間より少し早いので、折角、委員の皆様に来ていただいていますので、最後に皆様から何かご意見やご感想でも構いませんのでお伺いしても大丈夫でしょうか。</p>
大田委員	<p>今日は、ありがとうございました。 国の意向もありますが、丸亀市の子ども達やその保護者のために、このようにいろいろな関係機関の方々が集り、相談をして意見を出し合い丸亀市の実態に沿って話が進んで行くのが理想なのだと会に参加させていただき思いました。 また、今後も一緒に勉強していきたいなと思います。ありがとうございました。</p>
金澤委員	<p>今年度は、第3期丸亀市子ども未来計画の策定にあたり審議をしていくとのことで、丸亀市PTA連絡協議会の立場から参加させていただきます。我々PTAは、全国的にも珍しい保育所・幼稚園・こども園から高校までのこどもの健全育成、教育環境の改善でいろいろなことをさせていただいております。丸亀市内の子ども達と保護者に、「丸亀市はすごいよね」とか「保護者の繋がりが良いよね」などと思ってもらえるようにと活動をしています。子ども達が満足できるように、保護者・地域・学校の先生方・行政にサポートをいただいて、記憶に残る思い出となるよういろいろと考えていきたいと思っています。</p>

金澤委員	<p>活動状況としまして、昨年度はコロナでイベント等を自粛していたところからの再開となりました。今年1年は、コロナ前のように戻せたらとの思いでやっております。また、考え方などが、社会のニーズや保護者のニーズに合っていないと思うところもあり、我々も今後いろいろなことを考え直す地点ではあるなと考えています。また今後とも、いろいろとご協力いただけたらと思います。今後ともよろしく願いいたします。</p>
白川委員	<p>この会議には、中学校の教育関係者としての立場での参加です。 中学生になると、やはり不登校児童が増え、小学生の時より自尊心も低くなっていくところもあります。いろいろな問題について考えて行きたいと思います。</p>
前谷委員	<p>議長。先ほどの、吉村委員の質問「こども基本法附則第2条」について調べました。国は、令和5年4月1日のこの法律施行後5年を目途として、法律施行の状況及びこども施策の実施状況の振り返りを含めた検討をするとの内容のようです。以上です。</p>
真鍋委員	<p>子ども・子育て会議には長く参加させていただいていますが、なかなか発言する機会はなかったのですが、この会で言うべきではないのかもしれませんが今朝、丸亀聖母幼稚園内で話していたことをお話できたらと思いました。</p> <p>私事なのですが、園の利用定員の変更を来年度からしたいという話がでました。私立幼稚園は、毎年11月1日から翌年度の園児募集開始となり入園希望者数が決定してくるのですが、そこからだと利用定員の変更がなかなか間に合わなくて、今年度も利用定員と実際の在園児数とのバランスが悪く、変更しておけば良かったとの話をしました。利用定員の変更手続きが年度に1回ではなく、年度の途中でもできる機会があれば、実際の在籍人数と利用定員のバランスが取りやすいのではと感じているところ です。</p> <p>利用定員の変更について問い合わせたら、年度の途中ではできないとのことだったので来年度はしないといけないねと話をしました。ただ、観音寺市では年度の途中で利用者変更ができたと聞いたのですが、高松市ではできないと聞きました。市町によっていろいろ事情があるのかもしれないのですが、年度の途中で調整ができると私立幼稚園としては非常にありがたいと思います。以上です。</p>
合田委員	<p>公募で委員となりました。私も娘が今年から丸亀市内の高校に進学しましたので、そこでもPTAをやらせてもらっています。</p> <p>昔、私世代が中学生や高校生の時に怒られる理由となると、煙草やバイクとかだったのですが、最近のPTAで話題になる問題はスマホのことばかりです。また、そういう問題についても勉強していけたらと思います。</p> <p>それと、丸亀市ではいろんなところで施設の建て替えや改築がされていて、僕も仕事柄いろんな学校の先生と話をしますが、資材が遅れて工事が長引いているようで、今からの保育所とかの増設などは計画を長めに持つておく方が良いのかなと思っ</p>

合田委員	ております。今日はありがとうございました。以上です。
三好委員	<p>絵画教室を40年間、高松市と丸亀市でさせていただいています。まず、40年間子どもとお母さん達を見てきて思ったことは、お母さん達の言葉が少なくなり、ネットとかメールでしかやり取りができなくなってきました。やっぱり、コミュニケーションは大切で、もう少し声として言葉を発することが必要だと思います。それに、メールでの返信が一言で終わったり、連絡をしてもLINEできえ返事が返ってこないお母さん達もいて、大丈夫だろうかと危惧しています。</p> <p>また、子ども達は不登校が増えています。実際に絵画教室に来ている子どもがいましたが以前よりも増えたように思います。あと、多動性の子どもが多くなってきたとっていて、絵画教室に連れて行きたいけど多動性のようで行けないと数名のお母さんから聞きました。私は、そのような理由で諦めるのは勿体ない、子どもの可能性を伸ばしたいと思うのですが難しいですね。改めて時代とともに変わってきたところだと感じました。少しずつでも、何かでプッシュできたらいいなと思っております。</p>
吉村委員	<p>今回は、これだけの量での資料作成と会で大変だと思います。お疲れさまでございます。皆さん、今後ともよろしく願いいたします。</p>
長谷川委員	<p>初めての会への参加となりましたが、どういう会か少し理解ができました。今後はいろいろ勉強して発言できるようになって行けたらと思いますので、これからもよろしく願います。</p>
高橋委員	<p>丸亀市の重層的支援の話が、なかなか進んでいないのではと思います。丸亀市社会福祉協議会が委託を受けられていると思うのですが、やはり重層的支援となると問題の内容によっては子育ての方も関わってくるので、このような視点で計画を進めていく必要があるのかなと思っております。</p>
高木委員	<p>子育てに悩んでいる保護者への相談事業というのが私たちNPOの活動になるのですが、先ほどの近藤委員から「あだあじお」や保育所の巡回カウンセリングのことを言っていたことは、すごく力づけられました。私たちは保護者の方や現場の先生方が行っていることの一部ではありますが、できることを大事にしていこうと思えました。今後ともよろしく願います。</p>
近藤委員	<p>保育現場しか知らない私ですので、本当にできることは限られております。本日、会議に初めて参加させていただきましたが、皆様方の力を借りながら子ども達が健康で幸せに暮らせるように学んでいきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。</p>

山川委員	<p>次期計画の第3期こども未来計画には、少子化対策についても関係してきますが、少子化というのは1つの地方自治体で取り組むのはすごく難しい問題だと考えます。基本的には、国が率先して計画を決めていくべきだと思います。目標を高く持つことは良いことだと思うのですが、無理しないように計画のなかで謳っていただければと思います。</p>
矢野委員	<p>皆さんお疲れ様でございます。商工会議所はワーキング集団でございますので、経済の力を持って地域をより豊かなものに導いていくために日々頑張っているかなあかななど思いながら頑張っているところで、このアンケート調査結果をみたら生活が切実だということを改めて思いました。また、この地域に貢献できるよう最近アグリビジネスでの農業も始めまして、そっちの方でも新たな雇用を生んで、より豊かな地域をこども達に繋いでいけるように日々頑張っていきたいと思っております。また、皆さんとご意見交換や勉強をさせてもらいながら、精進していきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。</p>
松本委員	<p>意見を1点です。私を感じたことですが、最近はゲームをして家から出ないというこどもが多いように思います。また、そういう思いでアンケート調査結果を見ていたら「スポーツをする場所を増やしてほしい」との意見が多くみられます。あと、今年は小学校の建て替えと改築等が3校同時に行われています。そのことにより、運動場を利用できない状態です。これは結構、切実な問題でスポーツ少年団等のスポーツしているこども達の場所を奪うことになると思います。国との兼ね合いもあると思うのですが、3校同時に行うことはどうにか回避できなかったのかなと思います。その辺りも考えていただいて、子育てしやすいまちと皆が思うようになればと思います。以上です。</p>
中野副会長	<p>最初の会議から関わらせていただいております。今回のアンケート調査も集計するのが大変だったと思うのですが、回答をしていない方の中にも本当に困った状況の方が存在するのだろうなとも思っています。このアンケート調査の回答にもあったのですが「本当に困っている人は声も上げられず支援が行かない」というような意見がありました。次期計画策定にあたっては、アンケート結果も参考にしつつ、声を上げられない貧困世帯等にも目を向けた支援施策が行える計画ができたらいいなと思っています。よろしく申し上げます。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。急で申し訳ございませんが、皆さんにご意見等をいただきました。いろいろな立場からいろいろな意見をいただく重要な会議でありますので、今後とも皆さんからご意見等をいただけたらと思います。</p> <p>今回の議事にあつた子育て支援者等に対するアンケートとヒアリング調査は、結構重要なものになってくると思いますので、ぜひ皆さんご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

辰巳会長	それでは、議事につきましては以上とさせていただきます。ありがとうございました。お疲れ様でした。
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>辰巳会長ありがとうございました。委員の皆様も貴重なご意見、ご審議をいただきありがとうございました。冒頭でも申しましたが、今年度は計画策定のため例年よりも多く会へ出席いただき、ご審議をお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上で本日の会議は終了いたします。お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>